

切鍔飾箱「海のあなたの」「月の明り、打ち寄せる波、星の光が波間に遊び、箱の側面にこぼれ落ちるように降り注ぐ。箱の中の夜の海」透明感のある黒を表現し、その黒一色の中に闇の海に浮かぶ月や星の光を表現しています。

切鍔飾卓「夜の海に」「寄せては返す波の音、海の上を吹き渡る風、水面に降り注ぐ明かり、静かな、とても静かな夜の海に」波と波の上を走り抜ける風の模様を表現した作品です。

切鍔角皿「水面」Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 「朝の光が紡ぐ樹の陰、舞い落ちる葉、揺れる水面、木漏れ日の光が水面を泳ぐ、静寂の中、水面に見える柔らかな水音」四方形の盆に水紋を象り、木の葉を塗り込めて木漏れ日と池の水面に映る木の葉を表現しました。

三木 啓吾 (啓樂)

1971年塗師三代三木表悦の長男として生まれる。1996年「日本煎茶工芸展」にて文部大臣奨励賞、2005年「伝統工芸近畿展」で日本工芸会賞、2008年「第27回京都市文化奨励賞」、2010年「京都府美術工芸新鋭展～2009京都工芸ビエンナーレ」優秀賞受賞。2010年「京もの認定工芸士」認定。2011年京都高島屋美術画廊にて「三木啓樂漆芸展～たゆたう光～」展開催。2013年「伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰」奨励賞。

〒604-8255
京都市中京区堀川通六角下る壺屋町242
漆工芸表悦
TEL&FAX.075-221-0935
HP <http://www.hyoetsu.jp/>
Eメール keiraku@hyoetsu.jp



たゆたう風光と

木々の営みを漆黒の美にこめて

見る人の心に訴える「ものづくり」
ただ受け継ぐだけではない
ただ新しくめざらしたいだけではない
自分自身も、使って下さる人にも
喜びを運ぶ器を作りたいと願っています。
日常の器でもなく、ハレの器でもない
日常の生活に喜びを生み出すような器が作れたら。
そんな思いで漆と向き合う日々
その器には水や光がたゆたう世界
月の明りを受けて揺らめく夜の海
漆の黒にそんな世界を感じていただければと願っています。

◆京もの認定工芸士とは…

京都の伝統工芸品(京もの)の製造に従事し、特に優れた技術をも
有した意欲ある若手職人に京都市知事から授けられる称号。

京もの認定工芸士 第46号



みき

けいご

三木 啓吾 (啓樂)